

# 全建総連支援対策本部ニュース(No.3)

全建総連支援対策本部

## 東日本大震災と呼称

気象庁の発表によると、3月11日に発生した大地震の正式名称は、「東北地方太平洋沖地震」ですが、3月12日早朝に新潟・長野県境を震源とする地震の被害も発生しています。

そのため、全建総連支援対策本部では、今後「東日本大震災」と呼称します。

## 現地派遣は当面延期

前号で、3月14日に全建総連から岩手、宮城、福島、茨城の各組合に役職員を派遣する旨、報告しましたが、現地に到着できる見込みがたたないため、当面派遣は見送ります。現地の情報を正確に把握した上で検討します。

被害状況について

1．栃木建労 手塚委員長・仲島書記次長 12日午後電話。

県内北部の矢板支部事務所は、基礎にひびが入って、建物がゆがんでいる。内部は書棚が倒れ、サッシが壊れた。

矢板市内では、鉄筋の入っていないブロック塀が倒れていたり、外壁の落下、屋根瓦が落ちている家があった。

人的被害は無いようだが、14日から県北の組合員の被害状況の把握を始めたい。

2．全建総連福島の山崎書記次長より12日午後3時に電話。

「会館は停電している。役員とも連絡が取れない」

3．岩手県連・斉藤徳重会長と13日、午前6時30分に電話。

斉藤さんの話によると、「私の住まいは内陸だったので、大きな被害はなかった」、「仲間のことが心配だが、交通規制や停電、車のガソリンの見通しが立たなく動きようがない状態だ、何とか連絡を取りたいと思っている」との事です。

4．岩手県連・佐藤書記長から13日午後1時に電話。

私の自宅は先程電気が通じた。県連の事務所は停電状態だが、明日はつくと思う。

5．3月13日午前8時過ぎ、宮城県連の桜井事務局長の携帯から電話。

発生以降、何度も電話をかけていたが、つながらなかった。

地震発生から携帯電話も固定電話もまったくつながらない状態だったが、初めてつながったとのこと。しかし、このあとはまたつながらない状態にもどってしまった。

「会長ほか役員とはまだ、誰とも連絡が取れていない。自宅は被害はあったが、大丈夫なので避難所には行っていない。家族も無事。組合事務所は内部がごちゃごちゃ。電話も使えない」

6．秋田建労 武田事務局長 3月12日 午前9時電話。

県内の被害はまだ聞いていない。発生直後から県内全域で停電になっており、ファンヒーターやエアコンなどの暖房機器がまったく使えないので、とにかく寒い。

7．全建総連福島・いわきウイング建設組合の書記局の方より13日11時に電話。

「事務所は無事。明日14日朝から仕事を始める。救援物資を受け入れられると思う」とのこと。電話は0246-23-8807

8．山形県連の井上書記長より13日午前11時15分に電話。

「組合の会館は停電しているが被害はない。朝、宮城県に車に入ったが、県境を越えると携帯電話が圏外になってしまう。宮城の仲間が心配だ」